

講義コード	1036	科目区分	基礎教育科目(基礎)
(フリガナ)	キンゼミイチ	(フリガナ)	ハラダケンイチ イムンサン
授業科目名	基礎ゼミ I	担当教員名	原田憲一、李文相
英文授業科目名	Basic seminar I		
基準年次(開講期)	1年次(前期)	履修形態	必修
曜日/時限/講義室	月曜日/2時限/311教室		
授業の方法	演習	授業の方法 (詳細情報)	ビデオを見てメモをとる練習から始めて、メモからアウトラインの作成、アウトラインの文章化へと進む。
単位	1	週時間	2
授業のキーワード	メモ録り、アウトライン、ピア・レスポンス		
授業概要・目的	大学における学習に不可欠な学修技法の基礎を身に着ける。 前期は、メモ録りとアウトラインの作成に重点を置く。		
到達度評価の 評価項目	(知識・理解) 1. メモとアウトラインの効用が理解できる。 2. 映画の鑑賞法を理解している。 (知的能力・技能) 1. 講義や視聴覚教材を集中して聞くことができる。 2. 重要な語句や考え方をメモにとることができる。 3. メモからアウトラインを作ることができる。 4. アウトラインを使って論理的な文章構成ができる。		
授業計画			
第1回	オリエンテーション シラバスの配布、授業の進め方と受講の留意点等について		
第2回	レポートの作成要領 レポートの形式(表紙、目次、通し番号等)、原稿用紙の使い方、著作権(コピーや写真の無断使用等)等		
第3回	「奨学金」をテーマに点メモをとる実習(1) KJ法点メモの効用と録り方および実習		
第4回	「毒物中毒患者」をテーマに点メモをとる実習(2)		
第5回	「保育士の現状」をテーマに点メモをとる実習(3)		
第6回	「食品の買い方」をテーマに点メモをとる実習(4)		
第7回	「服の買い方」をテーマに点メモをとる実習(5)		
第8回	「児童労働とフェアトレード」をテーマに点メモをとりアウトラインをつくる実習(1)		
第9回	「コンクリート・クライシス」をテーマに点メモをとりアウトラインをつくる実習(2)		
第10回	「現代建築の老朽化と骨材資源の枯渇」をテーマに点メモをとりアウトラインをつくる実習(3)		
第11回	「木造高層住宅」をテーマに点メモをとりアウトラインをつくる実習(4)		
第12回	「幸福になるには」をテーマに点メモをとりアウトラインをつくる実習(5)		
第13回	映画鑑賞の基礎を学ぶ(1)		
第14回	映画鑑賞の基礎を学ぶ(2)		
第15回	映画鑑賞の基礎を学ぶ(3)		
教科書・参考書等	「発想法」と「文章作法」に関する本が数多く図書館にあるので、どれか1冊を通読すること。		
授業で使用する 機器等	視聴覚教材(DVD)		
予習・復習への アドバイス	点メモの録り方に慣れると集中力が増し、理解力が向上します。授業で習ったメモとりの技法は、授業のノートとりに応用		
履修上の注意・ 受講条件等	全回出席を前提にプログラムを組み立てているので、3回連続して欠席した場合は単位を認定しない。10分以上遅刻すると演習に支障をきたすので、10分以上の遅刻は欠席とする。		
成績評価の基準等	提出物の評価(50/100) 授業への参加度(30/100) 受講態度(20/100)を総合して評価する。		
メッセージ	大学での学修には、集中力と読み書き喋るに関する学習技法が不可欠です。集中力を高めるために、携帯電話は電源を切ってカバンの中にしまっておくこと。		
オフィス・アワー	授業終了前の10分間を質疑応答の時間(コミュニケーション・タイム)に充てるので、自由に質問すること。		
その他			